

7月18日、一関楽走会は今年度の自主事業として13年ぶりとなる須川マラソン大会を開催しました。真湯温泉センターから須川温泉まで、登り勾配厳しい15.8Km のコースに8名のランナーが挑戦し、2名の会員サポートで実施されました。

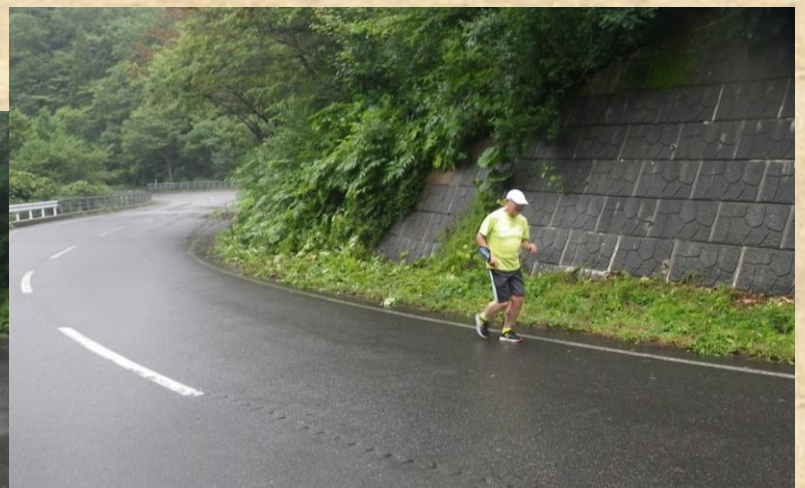
午前10時に真湯温泉センターに集合。小雨のばらつく空模様でしたが、炎天下よりは走りやすいコンディションとなりました。

出発式

真湯温泉センターで出発式が行われ、佐藤東会長が「13年ぶりの開催です。熊対策もしており、事故なく元気に完走しましょう」と挨拶。体操をして元気に出発しました。

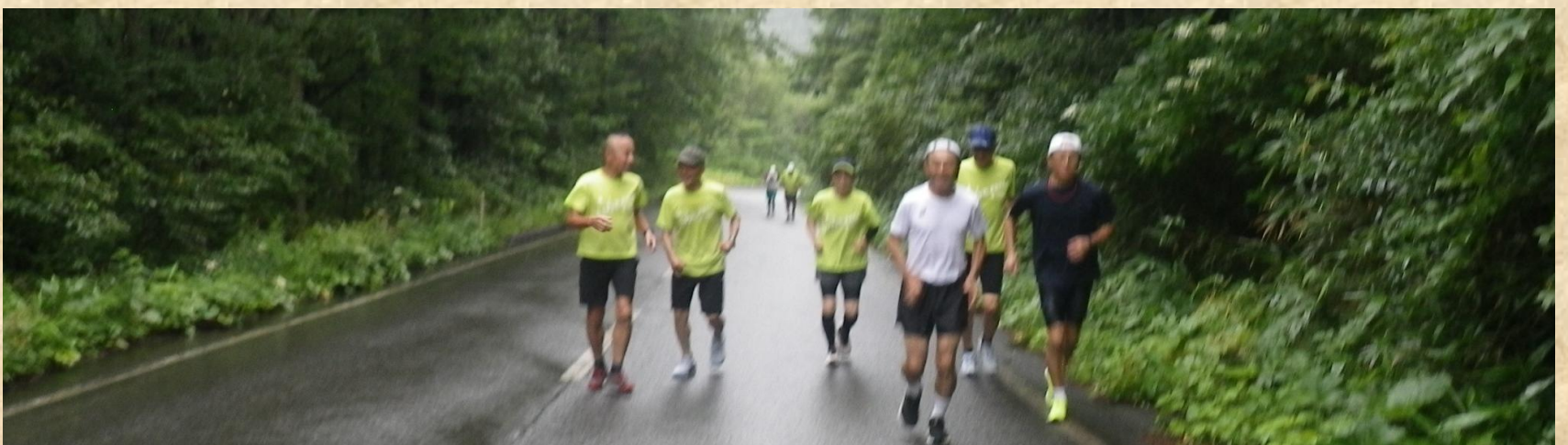


真湯ゲートからいきなりの厳しい九十九折り上り坂が続きます。トップで畠山真佐実さんが駆け上がりました。



殿は会長がしっかりと固めています。

一ツ石を過ぎ、スタートから4.3Km 付近。須川岳秘水「ブナの恵み」あたりまではまだ余裕の表情でした。秘水で一息入れ再スタート。



しかしやや遅れ気味のランナーも出始めました。



齋藤明美さんはまだ笑顔が見えます。

2人は殿チームです。



コース中間地点付近

トップグループは齋藤祐二さん、菊田和夫さん、藤田郁雄さんの3人に絞られました。



第2集団は、畠山真佐実さん、菅原孝一さん、齋藤明美さん

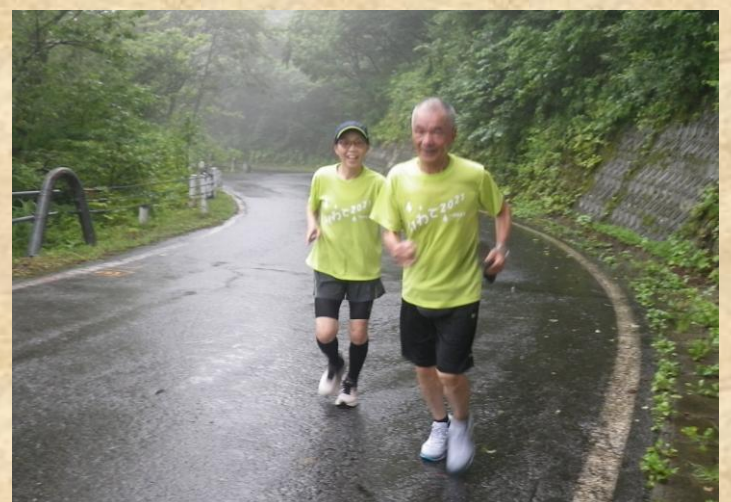
サポートカーは1号車、小野寺仁さん。2号車、平井恒雄さん。

途中、途中で力水をもらい踏ん張りました。



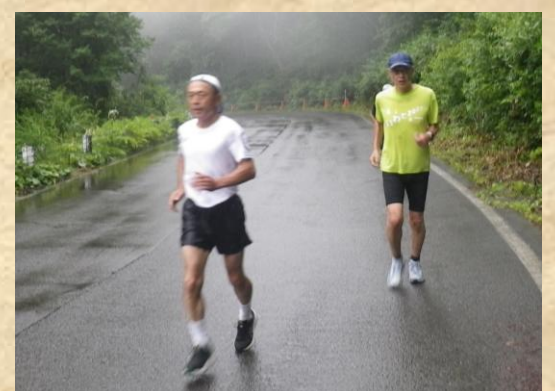
細川慎一さんは疲れ果て、地面ばかり見て周りの景色などはどこへやら。

畠山真佐実さん、齋藤明美さんの二人はまだまだ余裕のマイペースです。



須川温泉まで3Km 地点。最後の急勾配が続く難所です。菅原孝一さんの表情もだいふ歪んでおります。

トップ集団の齋藤祐二さん、藤田郁雄さん、菊田和夫さんは、ガチの先頭争いです。



菊田和夫さんはまだまだ余裕の様子。



こちらの3人は、足を止めて写真撮影です。



ラストランナーも2時間30分余りでゴール。

ゴール後、須川温泉に浸かり疲れを癒やしました。やっぱり須川のお湯はいいなあ〜。お昼は隣の栗駒山荘で。

お腹を満たしたところで、サポート車両にて真湯温泉センターのコテージまで戻りましたが、なんと齋藤祐二さんは帰りもランで山を下りました。でも13年前の須川マラソンでは、真湯から須川山頂までの往復が5名も居りました。今回も同じメンバーが何人かいましたが、13年の歳月は挑戦の意欲を失わせてしまいました。

真湯コテージで慰労交流会



大変楽しいマラソンと交流会でした